令和７年度

令和７年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

園名	新宿区立西新宿子ども園
住所	新宿区西新宿４－３５－５

１．活動のテーマ

<テーマ>

自ら探究する子どもを育てる

～自然を通して五感をくすぐる環境づくり～

<テーマの設定理由>

本園は都庁や新宿の高層ビル群の西にあり園庭は狭いが、隣接する小学校の校庭や天然芝の広場（第二校庭）、近隣の新宿中央公園等の環境を生かし、生き物や植物など自然物との豊かな関わりを大切にしている。しかし令和６年夏より、教室増設工事のため校庭使用禁止となり、天然芝の広場での活動も制限されるようになった。子どもたちが自然環境で豊かな経験を持続できるよう、園内の環境を見直し、さらに工夫、改善していきたいたと考え、上記のテーマを設定した。

２．活動スケジュール

●園庭の飼育栽培物の環境を整備する。
①栽培、飼育物の選定。
（生態系を意識した栽培、飼育物を選び整備する。）
②栽培、飼育物を観察探究を楽しめる物理的環境を整備する。
（プランター、水槽、虫眼鏡、図鑑、タブレット端末などを整備する。）
③園庭やテラスの環境を見直し、安全に様々な探究活動を自由にできるよう整備する。
●毎月園内研究会を実施しテーマに合わせた各クラスの事例を作成し研鑽していく。
●講師を招聘しての研究保育を継続的に行い、ご指導をいただき、援助のあり方や環境の工夫を検討する。

３．探究活動の実践

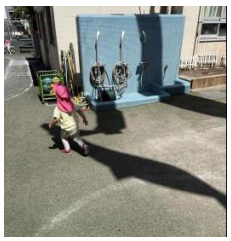
＜活動の内容＞

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

＜こいのぼりの影みーつけた＞　２歳児クラス
園庭に風を受けてなびくこいのぼりを見に行こう。
外靴を履き、帽子をかぶり、担任と一緒に３階から１階の園庭に行く。

・活動中の子供の姿・声、子供同士や教諭との関わり

子どもの日を間近にして、園庭にこいのぼりを飾りました。
園庭に出るなり「あ！」と見上げる子や地面の大きな揺れる陰を不思議そうに立ち止まって見つめる子がいました。



二歳児たちは、風が吹くと、地面のおおきな黒い影がゆらゆら揺れるのを面白がっていました。年長児が「こいのぼりの影だよ！」と教えてくれました。影を追いかけて、「待て待てぇ」と走る、追いついたと思うと影がぱっと動いて見失い、「いないいない」と探し、見つけては」また追いかけて…と夢中になっていました。

影を追う友達の姿や、自分と一緒に動く地面の黒い影に気づき、「なんだろう」とか「みて」とか言い、地面の影を見ながら、自分の動きと影の動きを見つめています。手を伸ばして、「触れたね」と面白そうにしていました。

４．振り返り＜振り返りによって得た保育者の気づき＞

こいのぼりは、子どもの視線よりずっと上に飾ってあった。年長児や大きい子は、上のこいのぼりに視線が行きがちだが、2 歳児は視界が狭く地面を見ているからこそ面白さに気づいたのではないかと考えた。そのような子どもたちの姿を保育者がほほえましく受け止めたことで、よりのびのびと探究し、影と自分の体や様々なものの動きやつながりに気づき、より意識していく姿につながったと感じる。影遊びが継続していきそうなので、初夏の日差しを存分に楽しめるよう、こいのぼりの時期の後は、子どもたちの興味に合わせて、シフォン、カラーセロファン、レース、ペットボトルなど、様々な素材を提供し、いろいろな物の影の面白さを子どもたちと一緒に保育者も探究し、楽しんでいきたい。